

2027年3月期 第2四半期

決算説明

株式会社リボミック(証券コード 4591)
2026年11月19日

RIBOMIC

本日の内容

- VISION 2030
- 事業の進捗
- 2027年3月期 2Q決算

トピックス

1 Vision 2030

- 監査等委員会設置会社移行による経営基盤の改革
- 収益拡大を目指し、ビジネスモデルを変更
- 次世代アプタマー技術の開発と実装化

2 アプタマー装着 DDS（薬物送達）システム

- 創薬支援 新事業に活用
- 脳内デリバリーの実証
- 複数の企業提携
（6件、2026年10月現在）

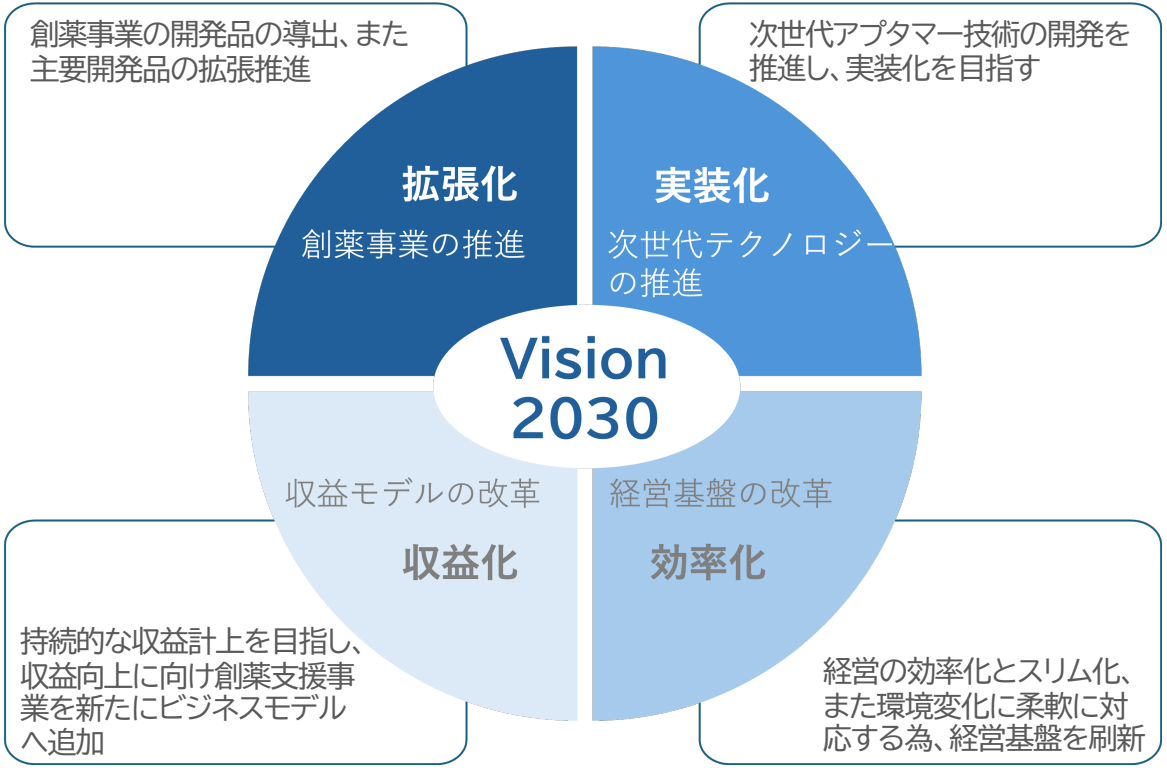
3 RBM-007：軟骨無形成症（ACH）治療薬の開発

- Phase 2 を完了、薬効を確認（POC）
- Phase 3 を開始
- 厚生労働省 希少疾病用医薬品指定（ODD）令和8年度助成金決定

Vision 2030

Vision 2030

～持続的に事業収益を計上できる創薬企業へ進化～



監査等委員会設置会社に移行：新規マネジメントチーム

● 取締役



代表取締役社長CEO
創業者

中村 義一 PhD

東京大学　名誉教授

RNA研究の第一人者。東京大学では、タンパク質合成マシーンであるリボソームの研究に長らく従事し、遺伝暗号解読から40年間謎であったタンパク質合成の終結の仕組みを世界で初めて解明した。その過程で、タンパク質とRNAの分子擬態という新しい生物学的概念を発見し、これがリボミックのアプタマー医薬品の研究開発の基礎となった。



取締役研究開発本部長

安達 健朗 PhD

東京大学大学院薬学系研究科
博士課程卒



社外取締役

松藤 千弥 MD PhD

東京慈恵会医科大学　学長・理事



社外取締役

藤原 俊伸 PhD

近畿大学薬学部医療薬学科 教授・薬学研究科長

● 監査等委員である取締役（社外）



西畑 利明 PhD

元 参天製薬㈱
取締役専務執行役員米国・欧州事業管掌兼研究開発本部長



貝阿彌　誠 弁護士

大手町法律事務所

元　東京家庭裁判所 所長
　　東京地方裁判所 所長



山本 守 公認会計士

株式会社日本橋アカウンティングサービス
代表取締役社長

元　有限責任あずさ監査法人 代表社員・パートナー

事業モデル

創薬支援事業

自社が開発した創薬プラットフォーム技術(例えばDDSシステム)を利用して、製薬企業や研究機関等から提示される研究開発課題や標的分子に対して創薬を支援することで、提携先から支払われる研究費あるいはプラットフォーム技術の導出によるライセンス対価を収入とする事業

創薬事業

自社で医薬候補となるアプタマーを開発し、その成果を製薬企業にライセンス・アウトし、ライセンス対価(契約締結時に受け取る契約一時金、開発進行に伴うマイルストーン収入、及び製品上市後の売上に応じたロイヤリティー)を得る事業



本日の内容

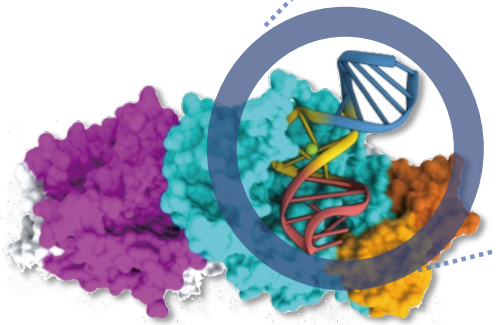
- VISION 2030
- 事業の進捗
- 2027年3月期 2Q決算

アプタマー（Aptamer）とは？

1本鎖の核酸が、塩基配列に応じて様々な立体構造を形成し
創薬標的に結合する性質を利用した新しい医薬品

抗体医薬に対する優位点

- 標的に対する高い選択性と結合力
- 標的の種類を問わない汎用性
- 化学修飾の容易性
- 化学合成
- 低い免疫原性



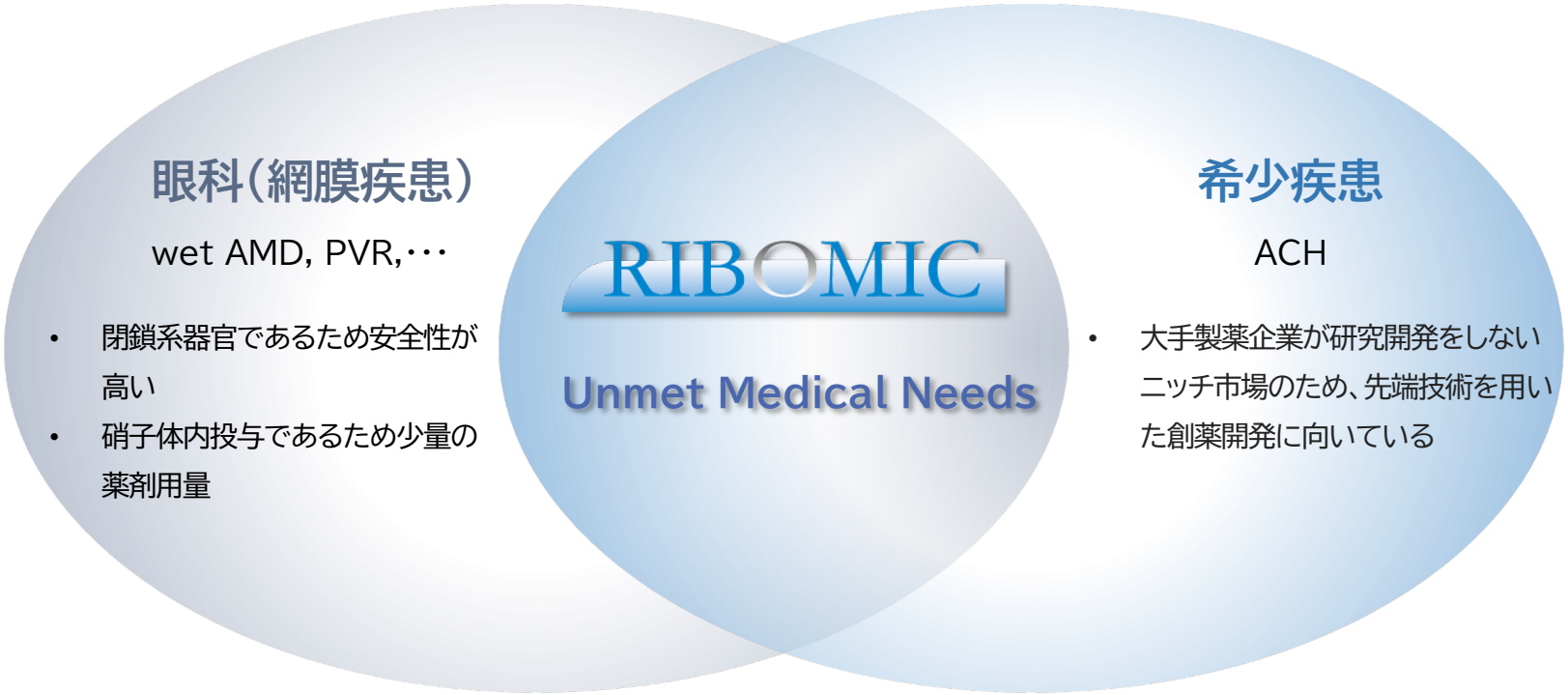
3D printer model of 2.0 Å crystal structure of the autotaxin/aptamer complex.
(Nat. Str. Mol. Biol., 23: 395-401, 2016)



RIBOMIC

当社の重点領域

アプタマーというModalityが適した疾患



主要なパイプライン

PoC Established

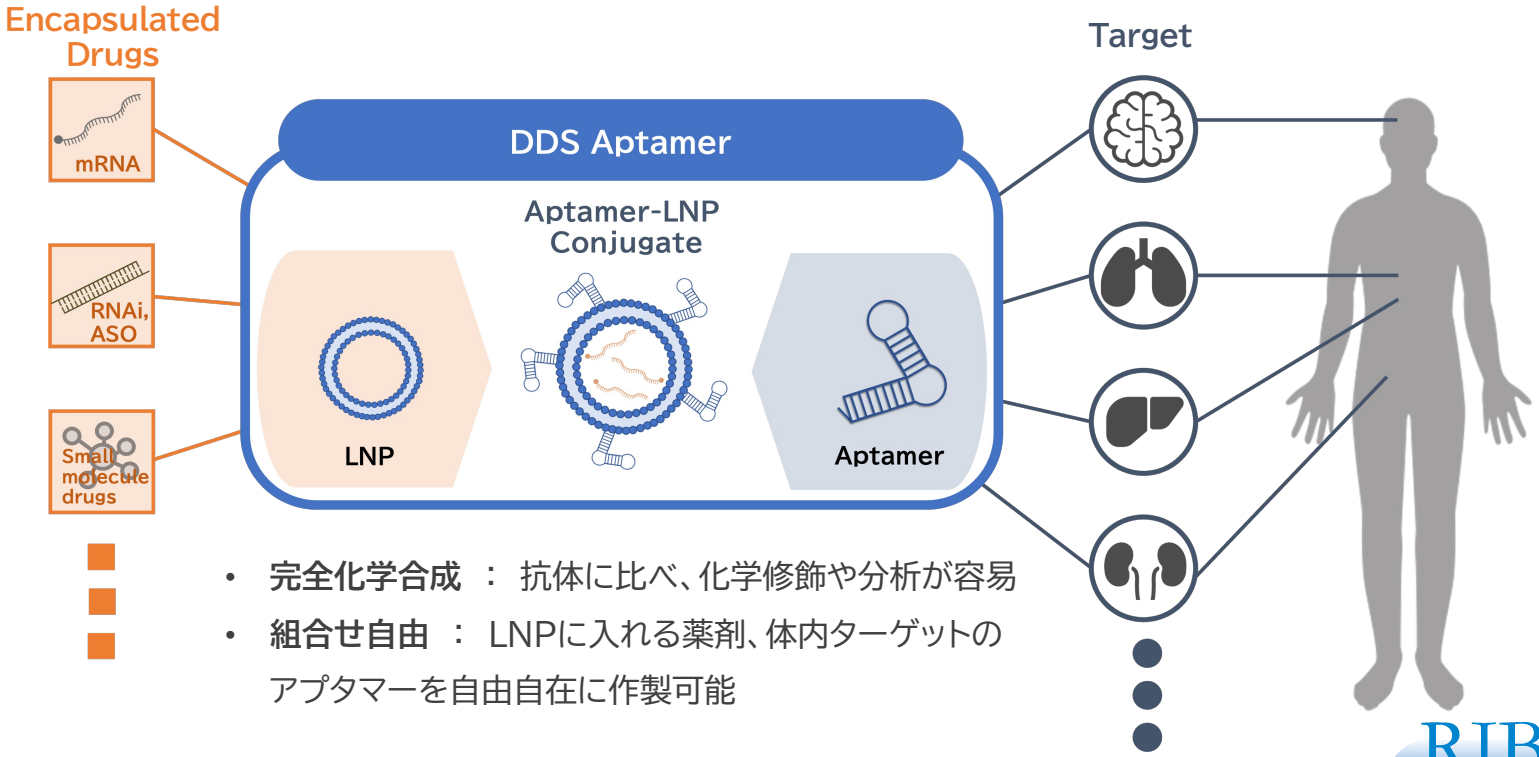
化合物コード	ターゲット	疾患	探索	前臨床	臨床		
					1	2	3
RBM-007	FGF2	軟骨無形成症（ACH）					
RBM-007	FGF2	滲出型加齢黄斑変性（wet AMD）					
RBM-007	FGF2	糖尿病黄斑浮腫（DME）					
RBM-006	Autotaxin	網膜疾患 増殖性硝子体網膜症（PVR）、緑内障、糖尿病網膜症等					
RBM-011	IL-21	肺動脈性肺高血圧症（PAH）					

RIBOMIC

DDS（薬物送達）アプタマーシステム

新規DDSアプタマー技術開発の進捗

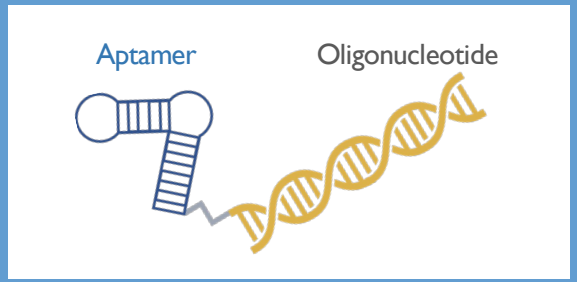
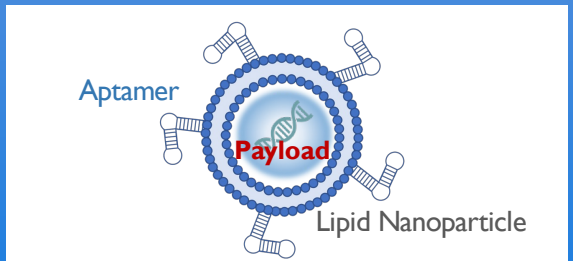
アプタマーLNP（修飾脂質ナノ粒子）



- **完全化学合成** ： 抗体に比べ、化学修飾や分析が容易
- **組合せ自由** ： LNPに入れる薬剤、体内ターゲットのアプタマーを自由自在に作製可能

＊2025年7月
特許出願済

血液脳関門(BBB)透過性 Aptamer ツール

	Dual Function RNA Conjugate	Aptamer-LNP Conjugate
		
Target	Target X	Transferrin Receptor 1
Cross reactivity	Human, Monkey, Rodent	Human, Monkey, Rodent
K_D (nM)	<1.0	<1.0
Feature	Proven brain-selective and widespread CNS delivery of payloads	Proven payload delivery to the brain

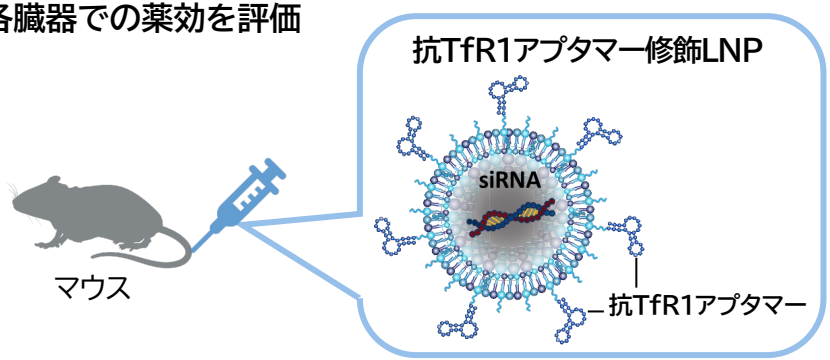
RIBOMIC

抗トランスフェリン受容体1（TfR1）アプタマー修飾LNP *in vivo*試験

～主要臓器別評価～

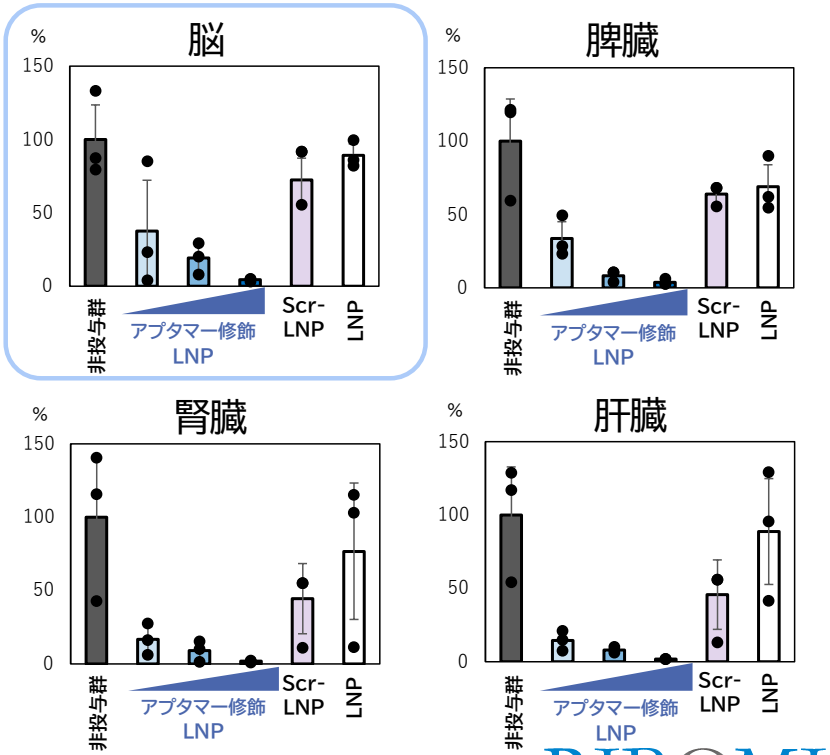
トランスフェリン受容体1（TfR1）
細胞が鉄を取り込むための受容体であり、脳の血管にも発現している。
そのため、血液脳関門（BBB）を介して脳へ物質（医薬品）を輸送する手段として各企業が開発に取り組んでいる。

各臓器での薬効を評価



脳への核酸医薬品送達を確認

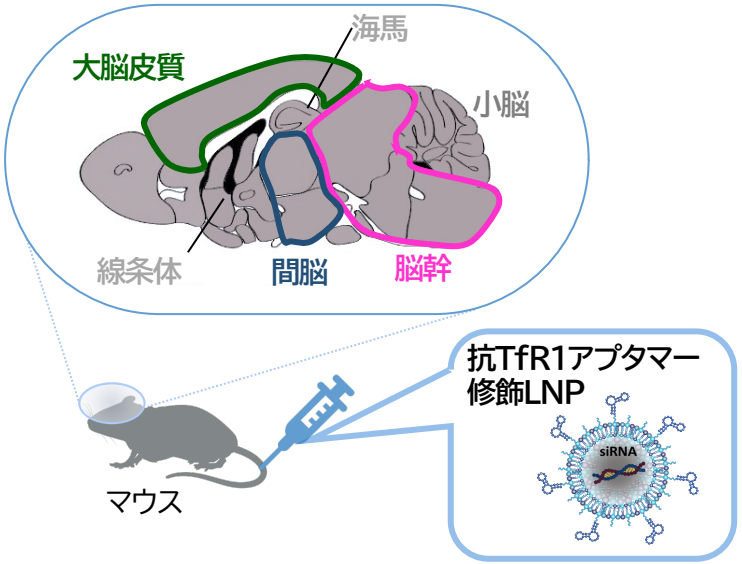
- **LNPに梱包したsiRNAより阻害された相対的なmRNA量**



抗トランスフェリン受容体1（TfR1）アプタマー修飾LNP *in vivo*試験

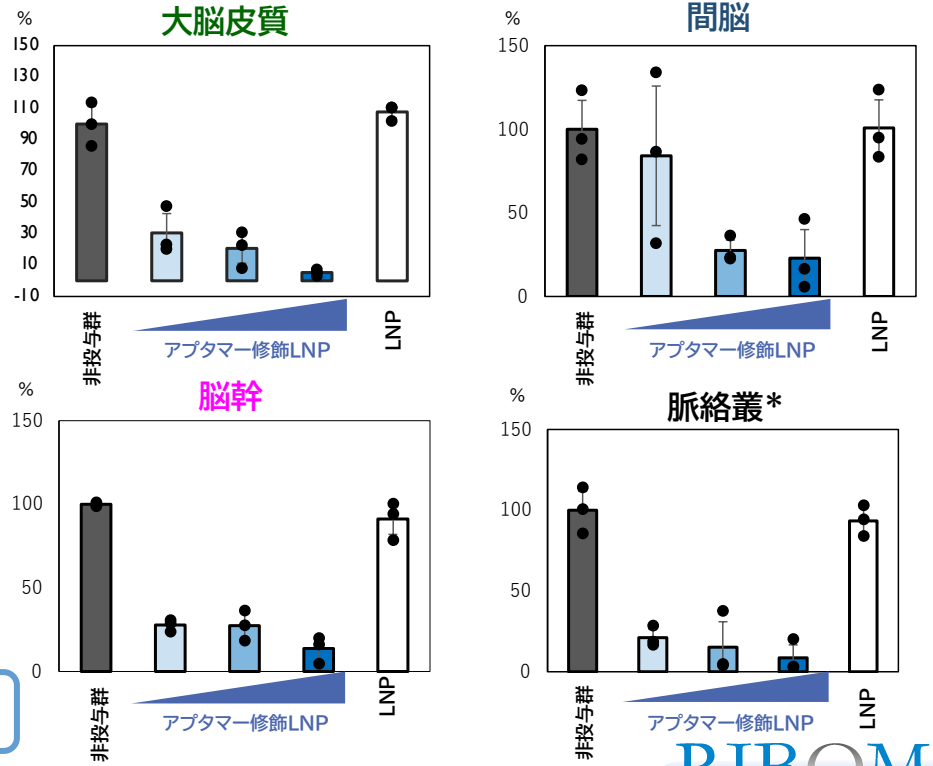
～脳部位別評価～

脳部位での薬効を評価



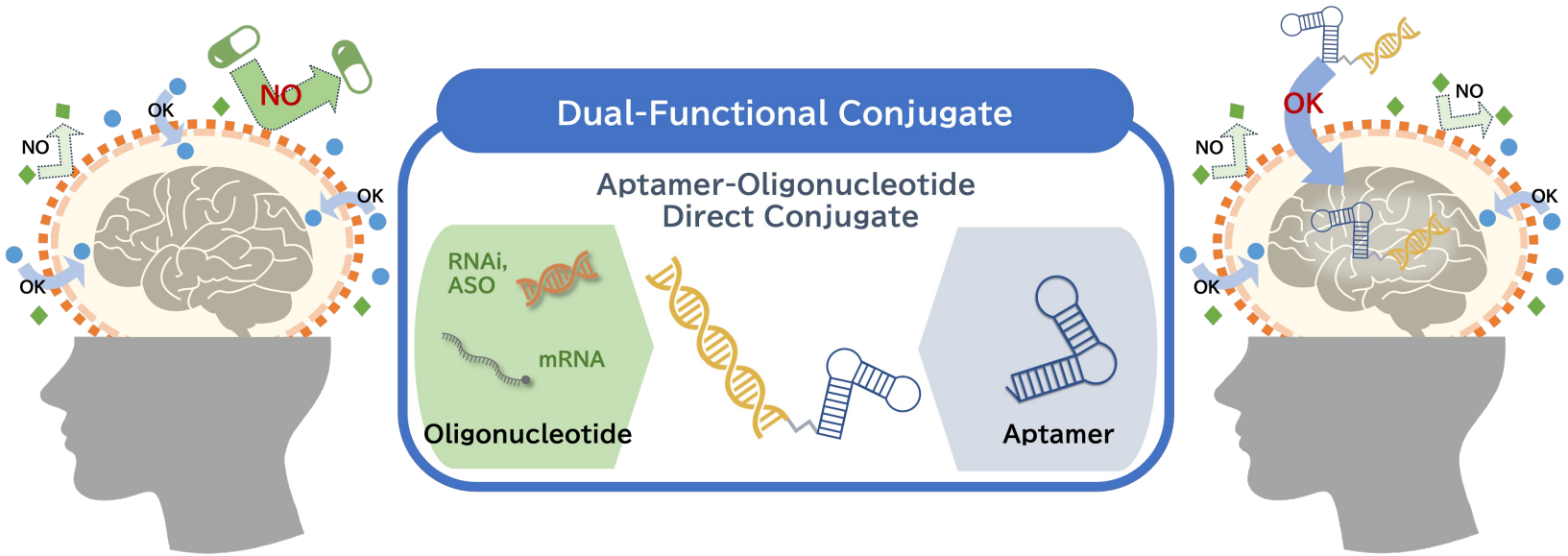
脳の広範な領域に対して核酸医薬品の送達を確認

- LNPに梱包したsiRNAより阻害された相対的なmRNA量



＊神経細胞を含まず血管と特殊な細胞からなる組織

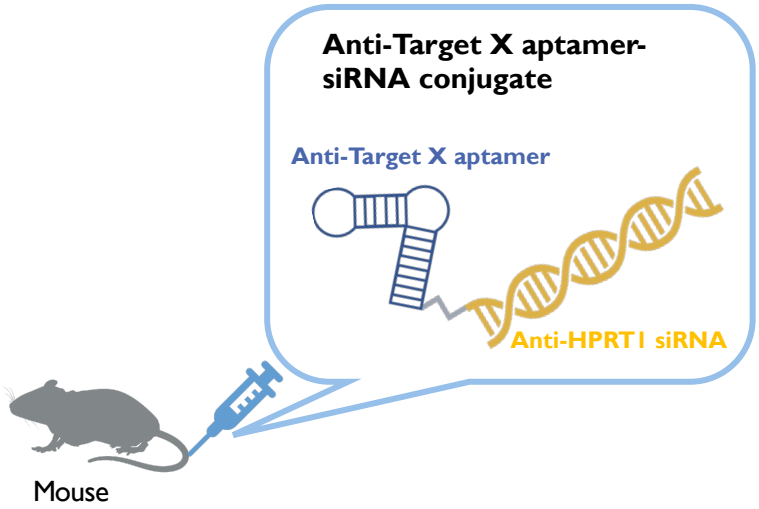
脳への薬物送達システム(DDS)用デュアル機能RNAコンジュゲート



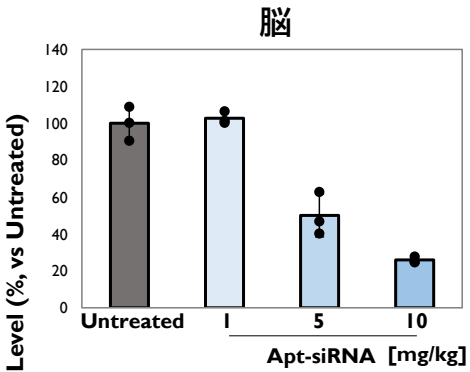
RIBOMIC

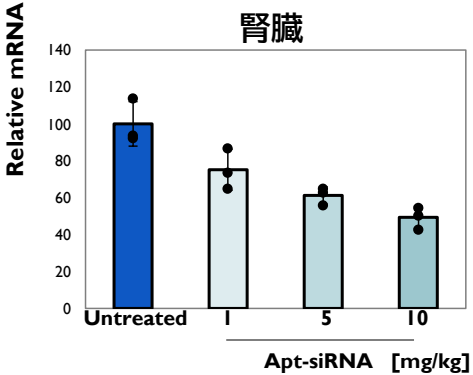
抗 Target X アプタマー・siRNA 結合体 Oligo の *in vivo* 試験

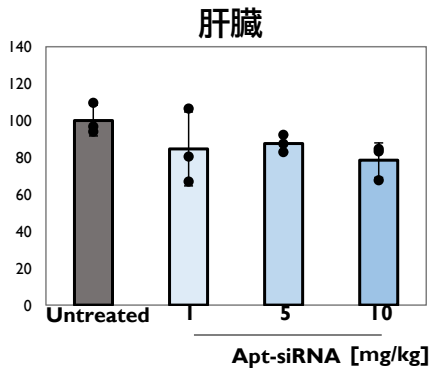
～主要臓器別評価～



脳への核酸医薬品送達を確認



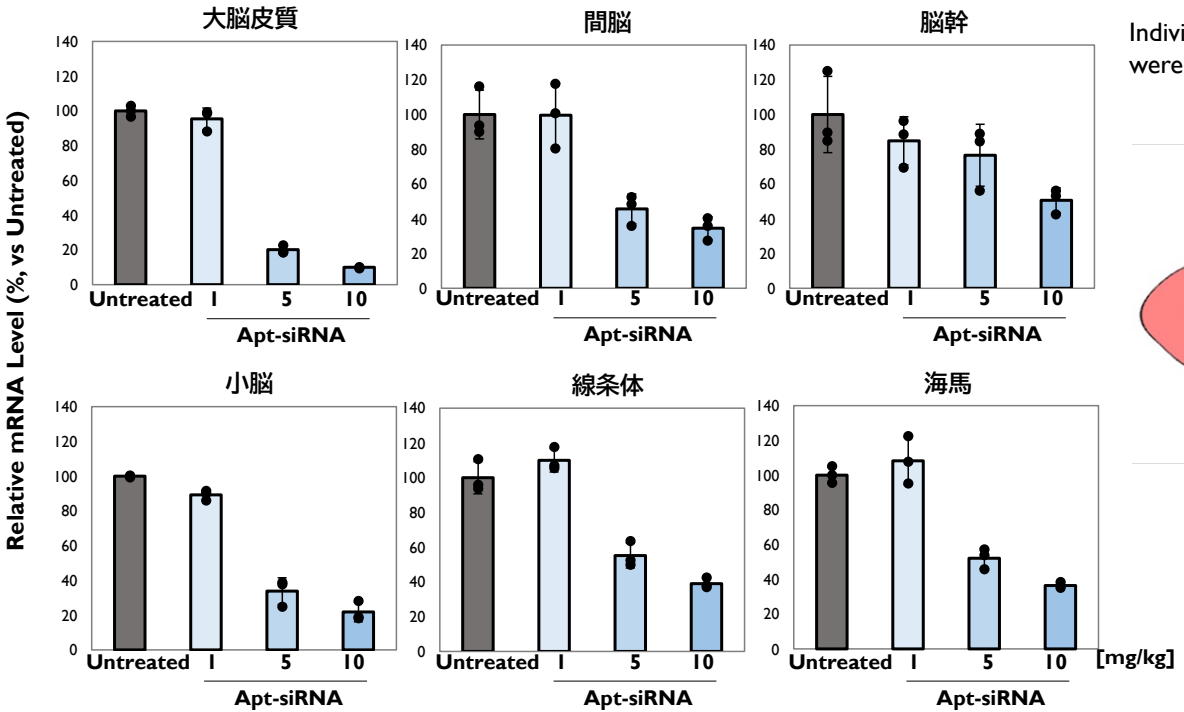




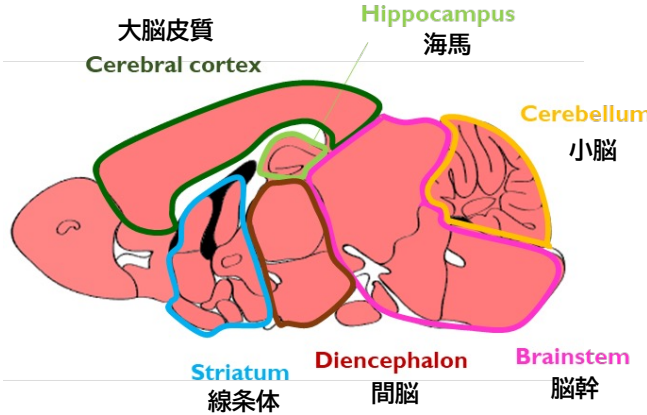
*Dose:The total nucleic acid weight.
10 mg/kg : siRNA alone is about 5.6 mg/kg

抗 Target X アプタマー・siRNA 結合体 Oligo の *in vivo* 試験

～脳部位別評価～

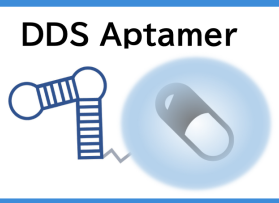


Individual brain regions were dissected, and mRNA levels were quantified.



脳の広範な領域に対して
核酸医薬品の送達を確認

創薬支援事業：DDSアプタマーシステム



プラットフォーム技術の開発

- ターゲットのアプタマーを創製
- 運びたい薬剤（LNP、siRNA、低分子薬 等）を調整
- 取得したアプタマーと薬剤の複合体を作成



デリバリーの実証

- 動物実験で体内動態を確認
- ターゲット先での薬効を確認



企業と提携

- 複数の企業と提携
- 創薬支援事業は初期段階で複数契約が可能（収益拡大）

DDSアプタマーシステムに関する提携企業

＊守秘義務契約により社名非開示

時期	提携先		契約形態	内容	対価
2025年12月	リードファーマ(株)	国内	共同研究	血液脳関門通過アプタマーによる中枢神経疾患治療薬の創出	非開示
2026年3月	日産化学(株)	国内	共同研究	DDSアプタマーを同社の核酸創薬技術に適用し、中枢神経疾患の医薬品を創出	非開示
2026年4月	SK Plasma Co., Ltd.	海外	共同研究	RiboART® systemを活用したアプタマー薬物複合体の作出	非開示
2026年6月	製薬企業 A社*	国内	業務委託契約	DDSアプタマーの技術評価	990万円
2026年7月	富士フイルム富山化学(株)	国内	業務提携契約	アプタマー修飾LNPアプタマー修飾LNPのCDMOサービス展開に向けた戦略的業務提携	記載なし
2026年10月	バイオテック企業 B社*	海外	技術評価契約	DDSアプタマーの技術評価	53,000米ドル（約837万円）
	⋮				
				合計	約3000万円

国内外で提携が成立し、当社システムへの関心の高さが感じられる

RIBOMIC

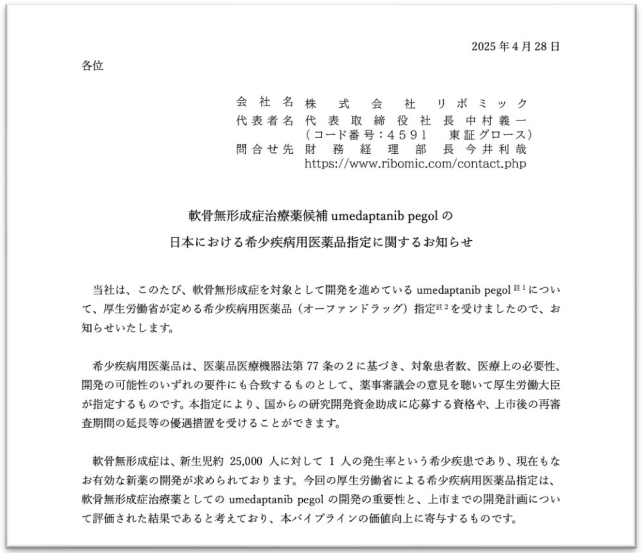
RBM-007（umedaptanib pegol）

軟骨無形成症（ACH）治療薬の開発

RIBOMIC

日本における希少疾病用医薬品指定
軟骨無形成症治療薬候補 RBM-007（umedaptanib pegol）

2025年4月25日付、軟骨無形成症を対象としたRBM-007（umedaptanib pegol）が厚生労働省の希少疾病用医薬品指定を受けました。



2025 年 4 月 28 日

各位

会 社 名　株 式 会 社 リ ボ ミ ッ ク
代表者名　代 表 取 締 役 社 長 中 村 義 一
（コード番号：４５９１　東証グロース）
問合せ先　財 務 経 理 部 長 今 井 利 哉
https://www.ribomic.com/contact.php

軟骨無形成症治療薬候補 umedaptanib pegol の
日本における希少疾病用医薬品指定に関するお知らせ

当社は、このたび、軟骨無形成症を対象として開発を進めている umedaptanib pegol[注1]について、厚生労働省が定める希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定[注2]を受けましたので、お知らせいたします。

希少疾病用医薬品は、医薬品医療機器法第 77 条の２に基づき、対象患者数、医療上の必要性、開発の可能性のいずれの要件にも合致するものとして、薬事審議会の意見を聴いて厚生労働大臣が指定するものです。本指定により、国からの研究開発資金助成に応募する資格や、上市後の再審査期間の延長等の優遇措置を受けることができます。

軟骨無形成症は、新生児約 25,000 人に対して 1 人の発生率という希少疾患であり、現在もなお有効な薬薬の開発が求められております。今回の厚生労働省による希少疾病用医薬品指定は、軟骨無形成症治療薬としての umedaptanib pegol の開発の重要性と、上市までの開発計画について評価された結果であると考えており、本パイプラインの価値向上に寄与するものです。

希少疾病用医薬品指定制度：
医療上の必要性が高いにもかかわらず、患者数が少ないために、本邦では十分にその研究開発が進んでいない状況にある開発品において安全かつ良質な医薬品を一日も早く医療の現場に提供する特別の支援措置として制定された制度

支援措置：

（1）医薬基盤・健康・栄養研究所（医薬基盤研）を通じて助成金の交付を受けることができる。
- 助成金交付期間　指定後～製造販売承認申請までの原則、最大三年間
- 助成金交付限度額　予算の範囲内で、試験研究費の1/2相当額まで
  →この制度を用い、昨年度は助成金3900万円受理。

（2）厚生労働省、PMDA及び医薬基盤研による指導・助言を受けることができる。また通常品目に比べて治験相談の手数料が減額される。

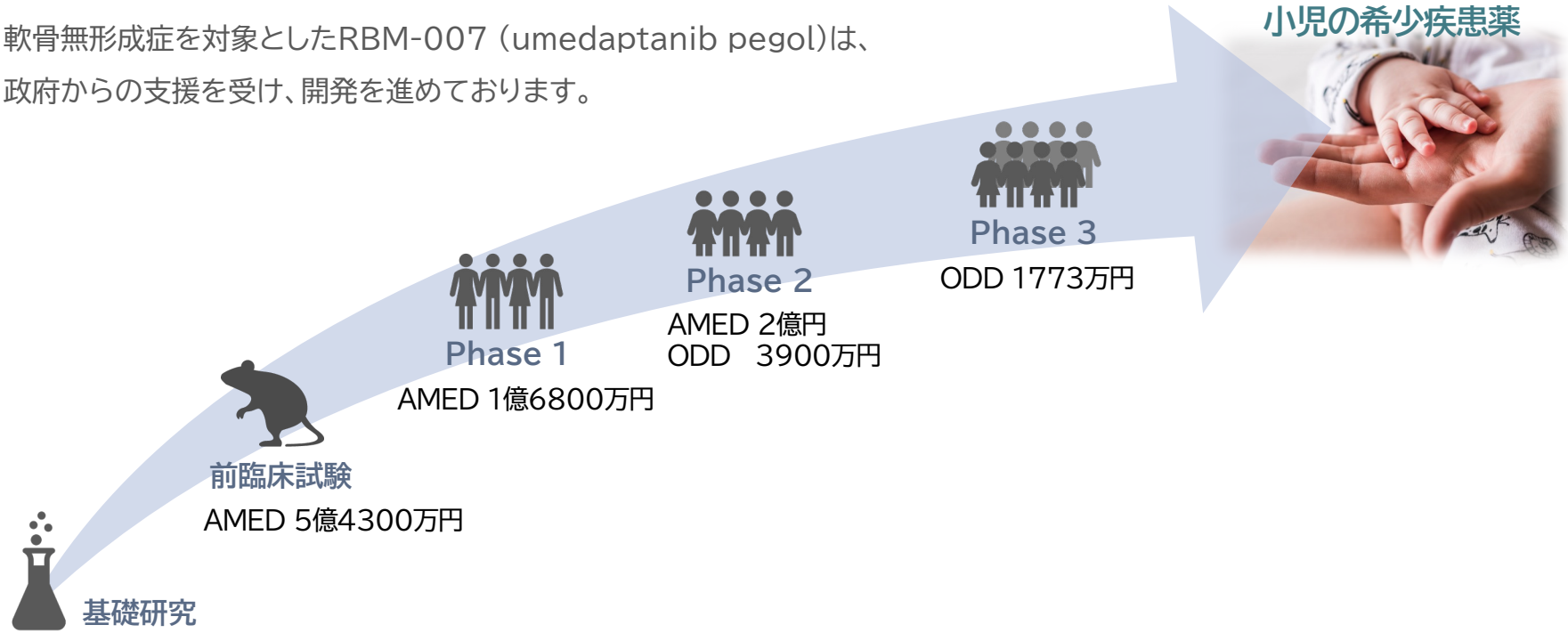
（3）医薬基盤研の助成金の交付対象期間に行う試験研究に係る費用のうちODDに係る試験研究費総額の20%を税額控除額として算定できる。

（4）承認審査に係る手数料の減額がある。

（5）再審査期間の延長：指定され承認された医薬品は再審査期間が10年間付与される。

日本発・小児の希少疾患薬を目指して

軟骨無形成症を対象としたRBM-007（umedaptanib pegol）は、
政府からの支援を受け、開発を進めております。

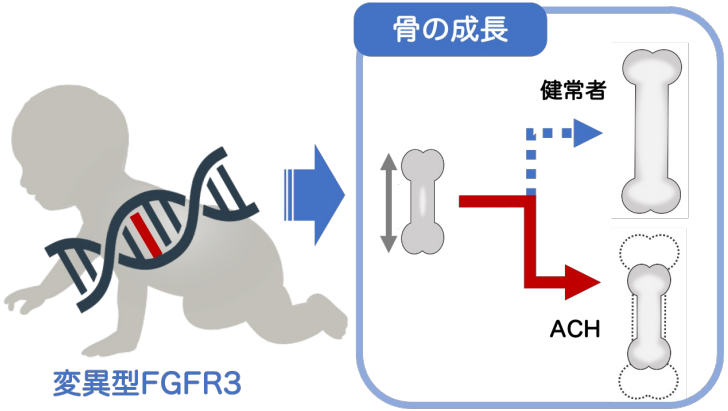


軟骨無形成症（ACH, Achondroplasia）

- **軟骨無形成症（ACH）とは**
  手や足の短縮を伴う低身長となる希少疾患です。
  有効な治療薬の開発が求められています。

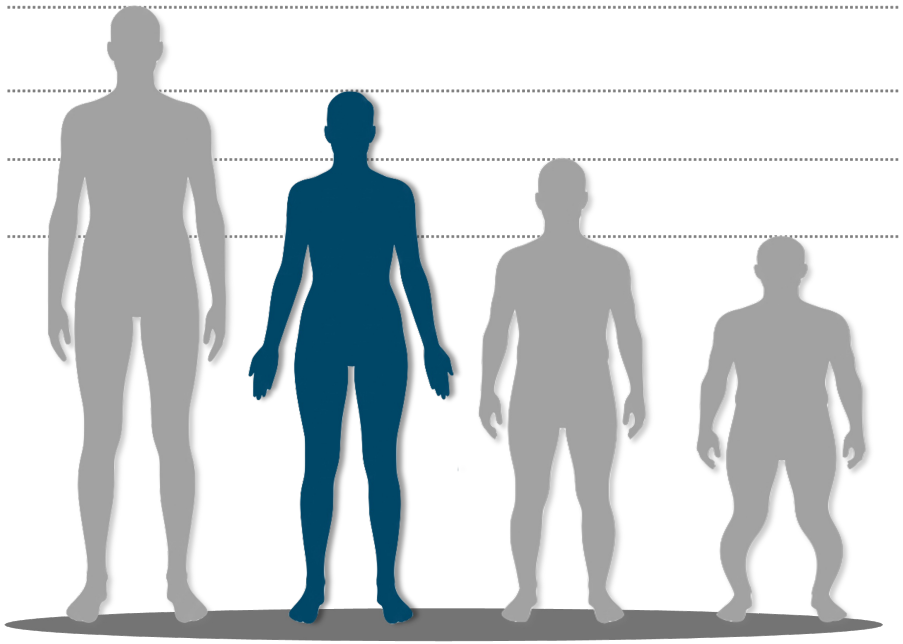
- **軟骨無形成症（ACH）の原因**
  FGFタンパク質に対する受容体FGFR3におきた突然変異です。
  変異したFGFR3によって、骨の成長に必要な軟骨組織（成長板）の形成に過剰なブレーキがかかり、骨の成長が妨げられます。





*Horton et al. Lancet 2007; 370: 162–72

FGFR3変異による身長の変化



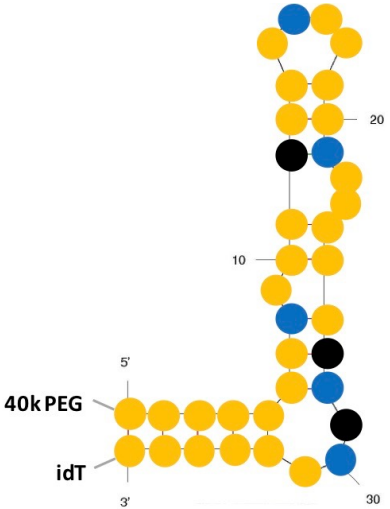
	身長	FGFR3 機能	FGFR3 変異
CATSHL syndrome	≒200cm (男女とも高身長)	欠失	null
Normal	男 176cm 女 163cm	正常	WT
HCH	男 150cm 女 140cm	増強	N540K
ACH	男 130cm 女 124cm	増強	G380A

*Am J Hum Genet. Nov;79(5):935-41.2006，Hypochondroplasia_GeneReviews® NIH, Cleveland Clinic等を元に弊社で作成

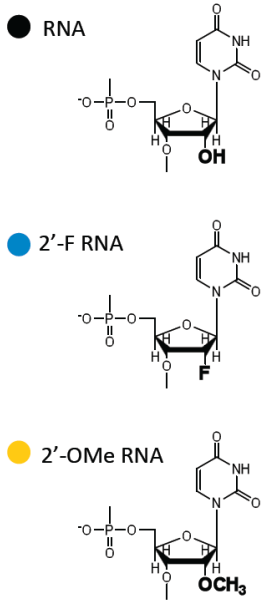
RBM-007（umedaptanib pegol）：抗 FGF2 アプタマー

多角的修飾加工によって血中滞留性と結合力を実現
（$t_{1/2}$ > 24 hrs and K_D 2 pM）

- FGF2の特異的認識
- FGF2・受容体結合の阻害
- MAPK/ERKシグナル伝達阻害



Molecular mass (Da)	
Oligo	12,437
PEG	40,000
APT-F2P	52,437



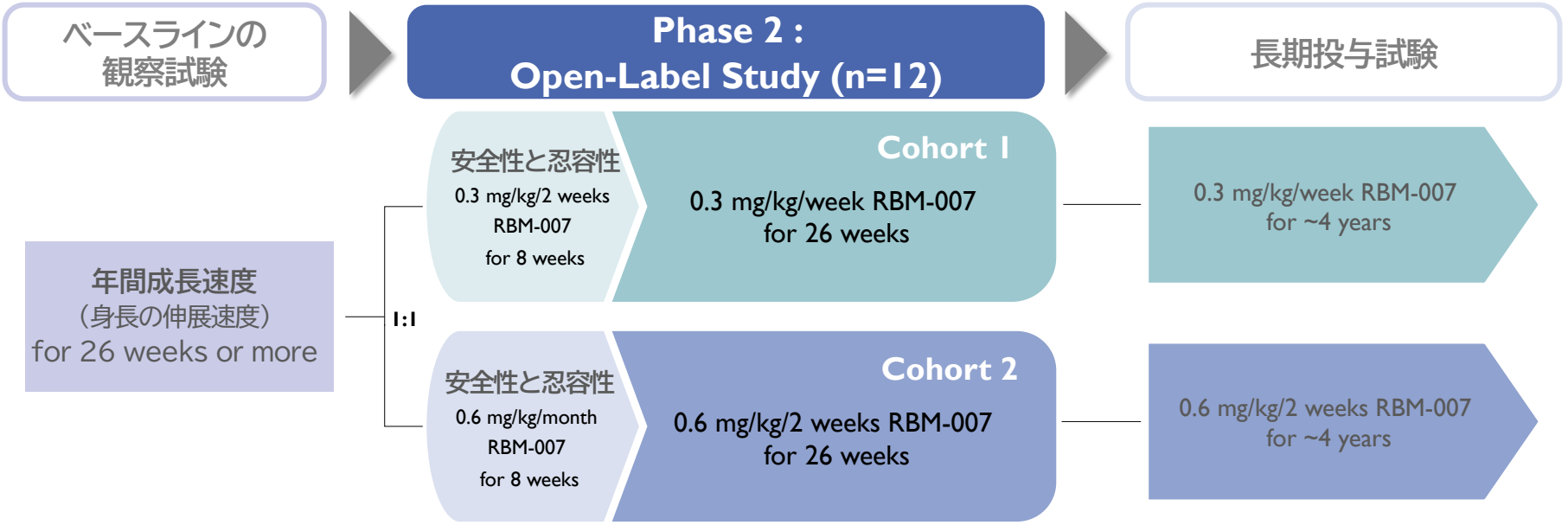
*Mol. Ther. 24:1974-1986 (2016)

RIBOMIC

軟骨無形成症（ACH）Phase 2 試験

Phase 2 臨床試験

治験サイト国内7施設 / Sep 2022 - Sep 2025



主な選択基準

- 治験開始時の年齢が5～14歳の患者
- 遺伝子診断により軟骨無形成症と診断されている患者

主要評価項目

- 26週間（6ヵ月間）の身長の伸展速度（AHV, Annualized Height Velocity）の変化

治験登録者の統計学的特徴と治療歴の有無

	Subject No.	Sex	Age (year)		Prior treatment				Note
			Baseline Week 1	P2 Week 1	GH	VOX	GH→VOX	Untreated	
Cohort 1 0.3 mg/kg	#1	Male	9	10				✓	Excluded from analysis due to a three-month interrupting medication.
	#2	Male	7	7				✓	
	#3	Female	8	8	✓				
	#4	Female	5	6	✓				
	#5	Female	7	7	✓				
	#6	Female	6	6	✓				
Cohort 2 0.6mg/kg	#7	Male	13	13			✓		
	#8	Male	9	10	✓				
	#9	Female	7	7	✓				
	#10	Female	7	8				✓	
	#11	Female	9	9			✓		
	#12	Male	5	6		✓			

- The age at the start of treatment was 6-13 years old.
- As for the administration history, the patient was either untreated or had a history of GH or VOXZOGO administration.

RIBOMIC

Phase 2 試験 Cohort 1 における有害事象(TEAE)

Cohort 1 : Subject No.	#2	#3	#4	#5	#6	Total (n = 5)
Treatment-related TESAEs	-	-	-	-	-	0%
Treatment-related TEAEs						
Injection site swelling	Mild	-	-	-	-	20%
Duration (Day)	1	-	-	-	-	
Treatment	None	-	-	-	-	
Outcome	Resolved	-	-	-	-	
Headache	-	Mild	-	-	-	20%
Duration (Day)	-	<= 1	-	-	-	
Treatment	-	None	-	-	-	
Outcome	-	Resolved	-	-	-	

TESAEs: Treatment-Emergent Serious Adverse Events

TEAEs: Treatment-Emergent Adverse Events

Safety **Good**

with no unexpected AEs in more than 500 SC injections

RIBOMIC

Phase 2 試験 Cohort 2 における有害事象（TEAE）

Cohort 2 : Subject No.	#7	#8	#9	#10	#11	#12	Total (n = 6)
Treatment-related TESAEs	-	-	-	-	-	-	0%
Treatment-related TEAEs							
Injection site tenderness	-	-	-	-	Mild	-	17%
Duration (Day)	-	-	-	-	1	-	
Treatment	-	-	-	-	None	-	
Outcome	-	-	-	-	Resolved	-	
Arthralgia	-	-	-	-	-	Mild	17%
Left knee : Duration (Day)	-	-	-	-	-	179※	
Left elbow : Duration (Day)	-	-	-	-	-	178※	
Right knee : Duration (Day)	-	-	-	-	-	109※	
Treatment	-	-	-	-	-	None	
Outcome	-	-	-	-	-	Resolving	

TESAEs: Treatment-Emergent Serious Adverse Events

TEAEs: Treatment-Emergent Adverse Events

※The onset of arthralgia was intermittent, and the intensity and duration of the pain remained within a range that did not interfere with daily life. Furthermore, at the time of the visit, the arthralgia had already subsided. Initially, the arthralgia in this subject was observed as a single course. However, due to the intermittent nature of the symptoms, it was evaluated as separate episodes of arthralgia in different locations, resulting in a prolonged duration. Although the arthralgia is now completely resolved, considering the possibility of future recurrence, the outcome is described as "Resolving."

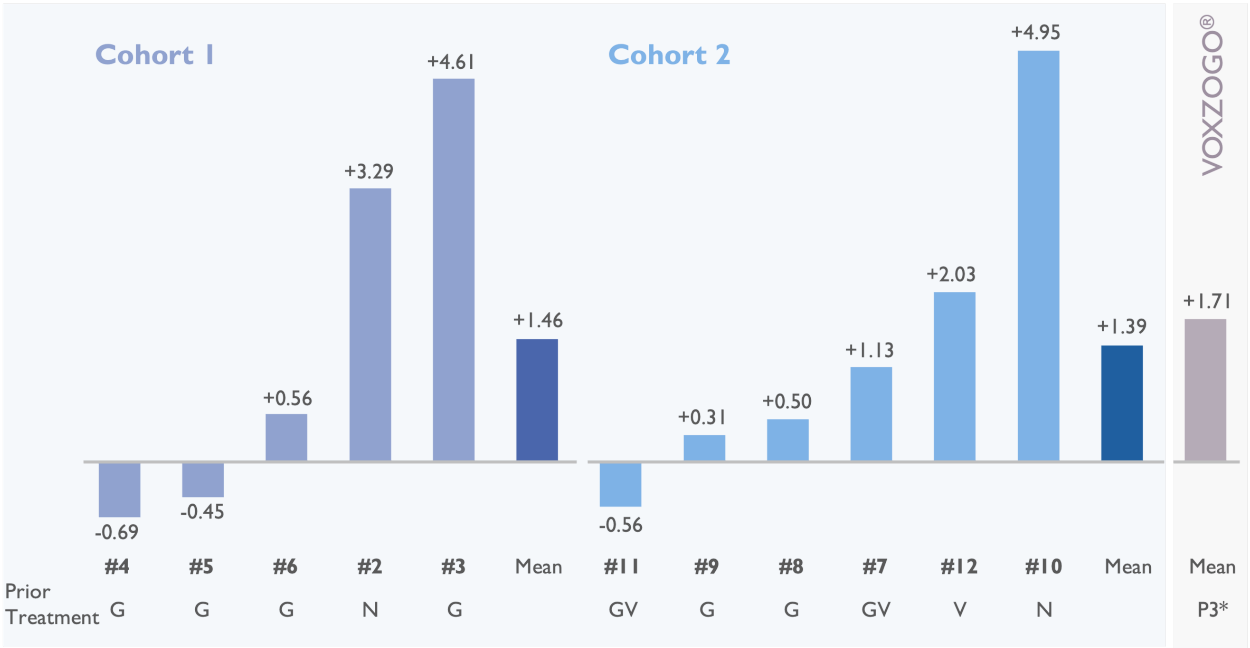
Safety **Good**

with no unexpected AEs in more than 180 SC injections

RIBOMIC

Phase 2 試験の結果 と 承認薬（VOXZOGO®）との比較

ベースラインからの年間身長伸展速度(AHV)の変化（cm/year）



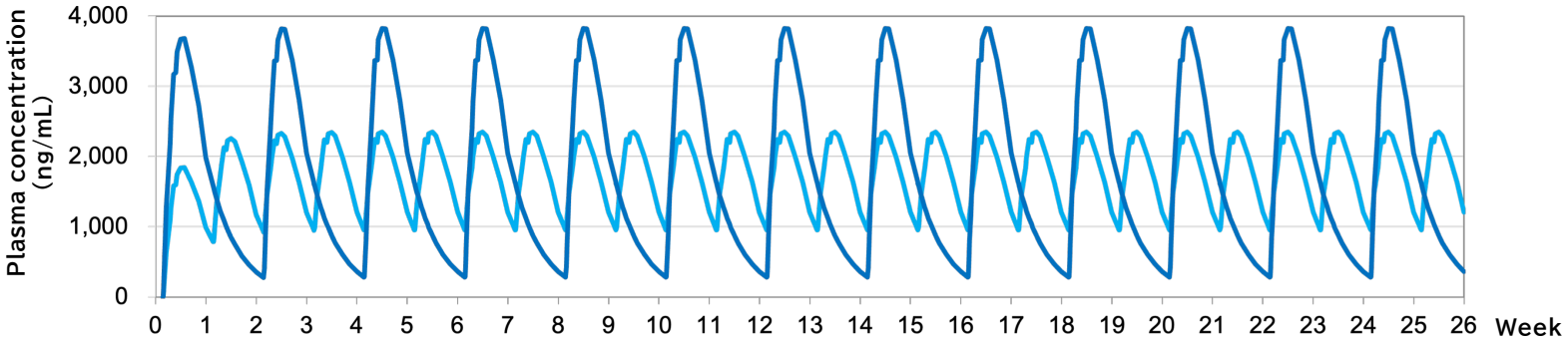
N:Untreated , G:Growth hormone , V:VOXZOGO® , GV: Growth hormone→VOXZOGO®

- レスポンダーの変化は、承認薬VOXZOGO®の平均変化量よりも大きい
- Cohort 1および2における平均変化量は、第3相試験におけるVOXZOGO®と同等
- Cohort 2の方がレスポンダーの割合が高い
- VOXZOGO®投与歴患者でも改善が観察される（2／3例）
- 安全性の懸念はない

＊BioMarin VOXZOGO® Phase 3 (NCT03197766) , https://clinicaltrials.gov/study/NCT03197766?tab=results

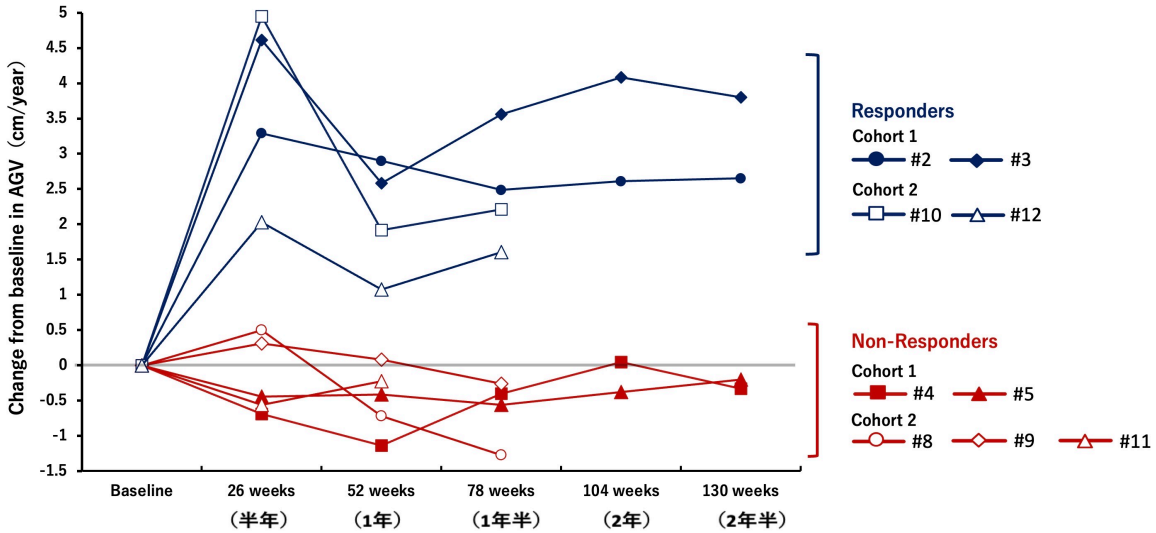
Phase 2 試験の PK シミュレーション

- Phase 1 試験 24症例の投与における薬物濃度データを用いてPhase 2試験データのシミュレーションを実施
- 投与開始より概ね4週間でC_{max}、AUCが定常状態に達する



	成長速度増加率 平均（AHV）	定常状態のC_{max} (ng/mL)	定常状態の$AUC_{0\sim336\ h}$ (ng･h/mL)
Cohort 1（0.3mg/kg,w）	+1.5 cm/y	2,349	592,989
Cohort 2（0.6mg/kg,biw）	+1.4 cm/y	3,822	592,810
結論		CmaxはAHVに寄与しない	AUCがAHVに寄与する

Phase 2 長期試験における成長速度(cm/year)の変化



- 1年半以上の長期試験において、レスポンダー4名の年間成長率の増加は維持されている
- ノンレスポンダー5名については変化なし

小活

Phase 2
目標達成


厚労省：希少疾病用医薬品指定（ODD）
2025/4/25付


提携交渉を加速


IND(治験)申請 2026/4/2許諾

Phase 3

＜予定期間＞
2026年4月開始～
2028年終了
2029年承認へ

RIBOMIC

軟骨無形成症（ACH）Phase 3 試験

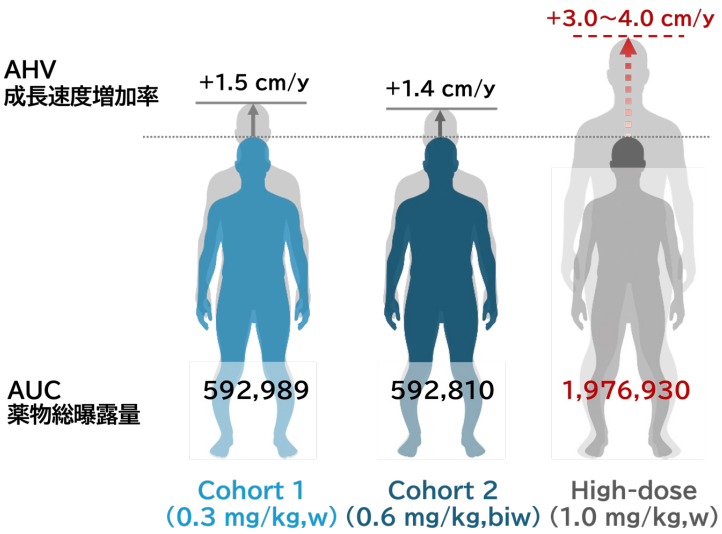
高用量（1mg/kg）投与の PK シミュレーションと年間成長率の予測

Best in Class の薬を目指して

- Phase 1 試験 24症例の投与における薬物濃度データを用いて Phase 2 試験データのシミュレーションを実施
- 投与開始より概ね4週間でC_{max}、AUC（薬物総曝露量）が定常状態に達する

→ **上記PK シミュレーションを元に高用量（1.0mg/kg,w）における年間成長率を予測***

	Growth Rate Increase (AHV)	Steady-state C_{max} (ng/mL)	Steady-state $AUC_{0\sim336\ h}$ (ng・h/mL)
Cohort 1 (0.3 mg/kg,w)	+1.5 cm/y	2,349	592,989
Cohort 2 (0.6 mg/kg,biw)	+1.4 cm/y	3,822	592,810
High-dose (1.0 mg/kg,w)	**+3.0~4.0 cm/y***	7,831	1,976,930



Phase 3 試験デザイン

＊RBM-007: umedaptanib pegol

ベースラインの観察試験
年間成長速度（身長の伸展速度）for 26 weeks

Phase 3 : 単群試験 Open-Label Study (n=16)
1.0 mg/kg/week RBM-007 for 52 weeks

長期投与試験
1.0 mg/kg/week RBM-007 for ~4 years

主な選択基準
- 治験開始時の年齢が2～14歳の患者
- 遺伝子診断により軟骨無形成症と診断されている患者

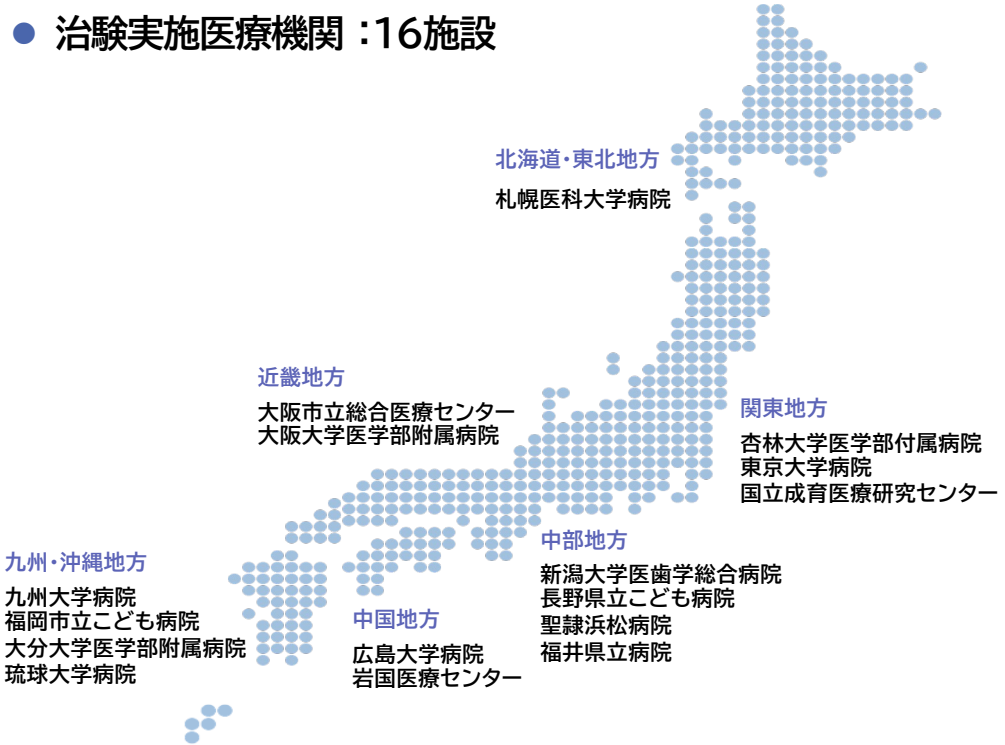
主要評価項目
- ベースラインからの年間身長伸展速度の変化量

Study period
IND approved April 2026
Ending in 2028
Approval in early 2029

Phase 2 長期試験の患者さんに関して
Phase 3で1 mg/kgの投与を行うことを踏まえ、Phase2長期投与試験に参加されている患者さんについても、それぞれの状況や希望等に応じて、1 mg/kgでの投与を選択できるようになっています。（PMDA変更届受理）

Phase 3 試験の進捗

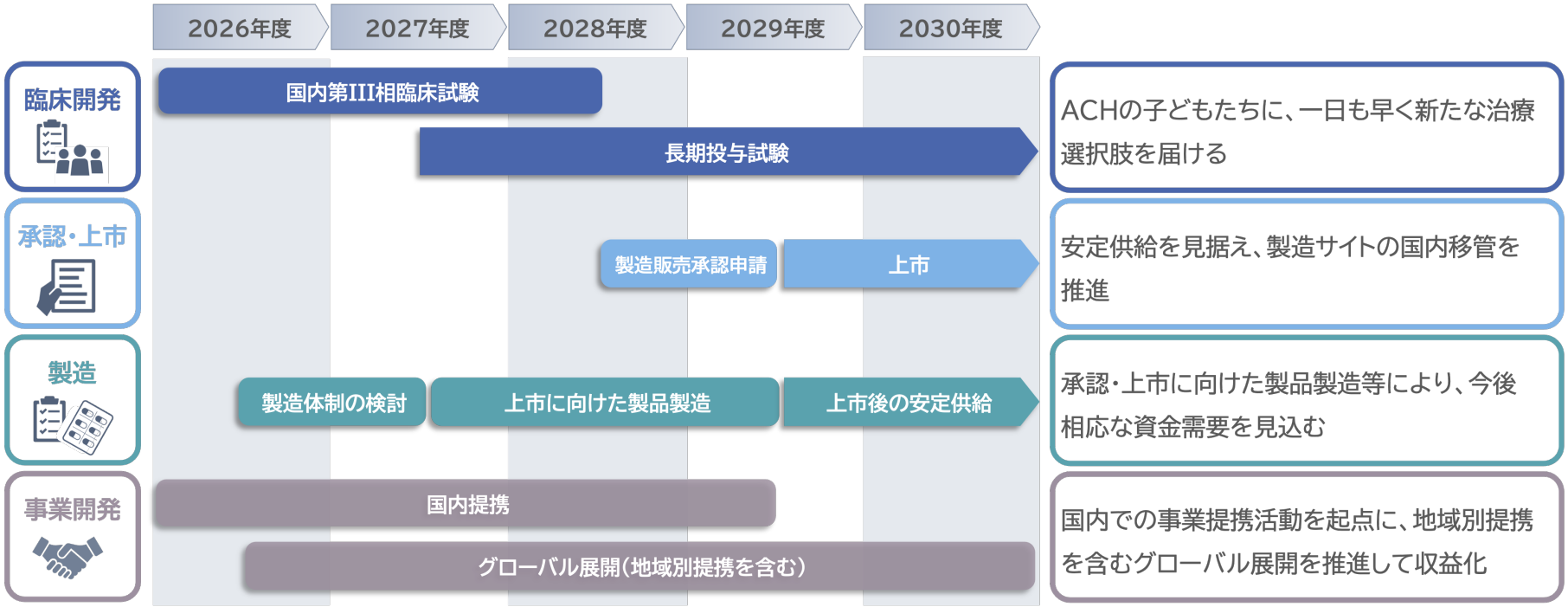
- **治験実施医療機関：16施設**



- 各施設に患者さんの登録が実施され、Phase 3試験に必要な16名は完了
  現在、18名まで登録済み（最大25名）

- 1st Patientは観察試験の半年経過、来年1月には治験薬の投与が始まる予定

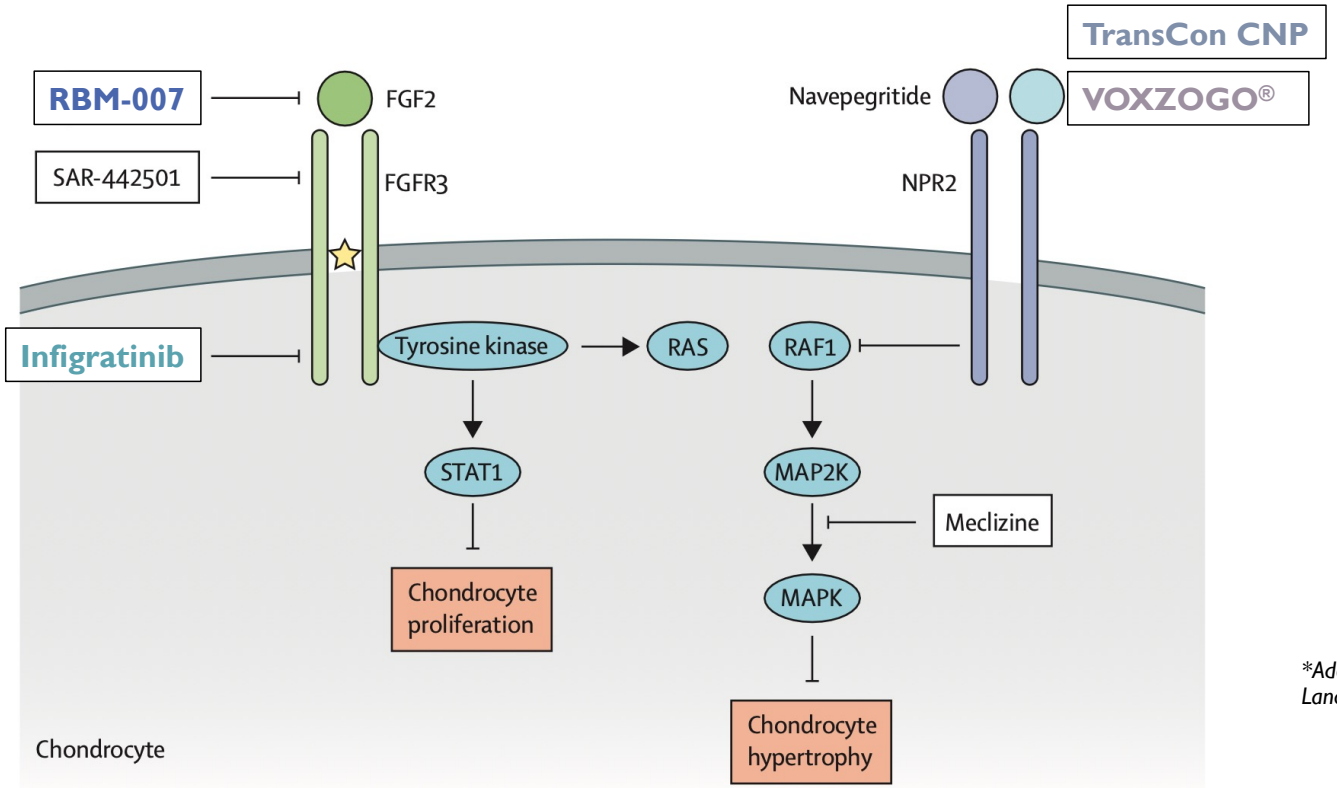
承認・上市に向けたロードマップ



※各項目の時期は目安であり、確定したものではない

軟骨無形成症（ACH）治療薬開発の世界動向

ACH治療薬の作用機序



*Adopted from:
Lancet Child Adolesc Health 2024; 8: 301–10

他社開発品との比較

プロフィール	umedaptanib pegol	VOXZOGO®	Infigratinib	YUVIWEL® （TransCon CNP）
開発企業	RIBOMIC Inc.（Tokyo）	BioMarin Pharmaceutical Inc.（CA）	BridgeBio Pharma, Inc.（CA）	Ascendis Pharma A/S（Denmark）
医薬品	RNAアプタマー	CNPアナログ	低分子	徐放性CNPアナログ
作用機序	FGF2阻害（直接的）	MAPKシグナル阻害（間接的）	FGFR1-3チロシンキナーゼ阻害（直接的）	MAPKシグナル阻害（間接的）
開発ステージ	Phase Ⅲ 開始	上市（2022年）	Phase Ⅲ 終了	FDA 承認（2026年2月）
投与方法	皮下投与（1回/1 or 2週）	皮下投与（1回/日）	経口投与（1回/日）	皮下投与（1回/週）
身長伸展効果	**+1.4 cm/year** （Phase 2） **+3.0 cm/year** （Phase 3 予測値）	**+1.5~1.7 cm/year** （Launched[*1]）	**+1.5~1.7 cm/year** （Phase 3 [*2]）	**+1.5 cm/year** （Phase 3 [*3]）

[*1] BioMarin VOXZOGO® Phase 3 (NCT03197766) , https://clinicaltrials.gov/study/NCT03197766?tab=results
[*2] https://s205.q4cdn.com/224494602/files/doc_events/2026/Feb/12/Infigratinib-PROPEL3-Topline-results_Feb-2026-FINAL-FINAL.pdf
[*3] https://investors.ascendispharma.com/static-files/ac6e8fb8-8ab9-4c5c-b25c-14a90f766b48

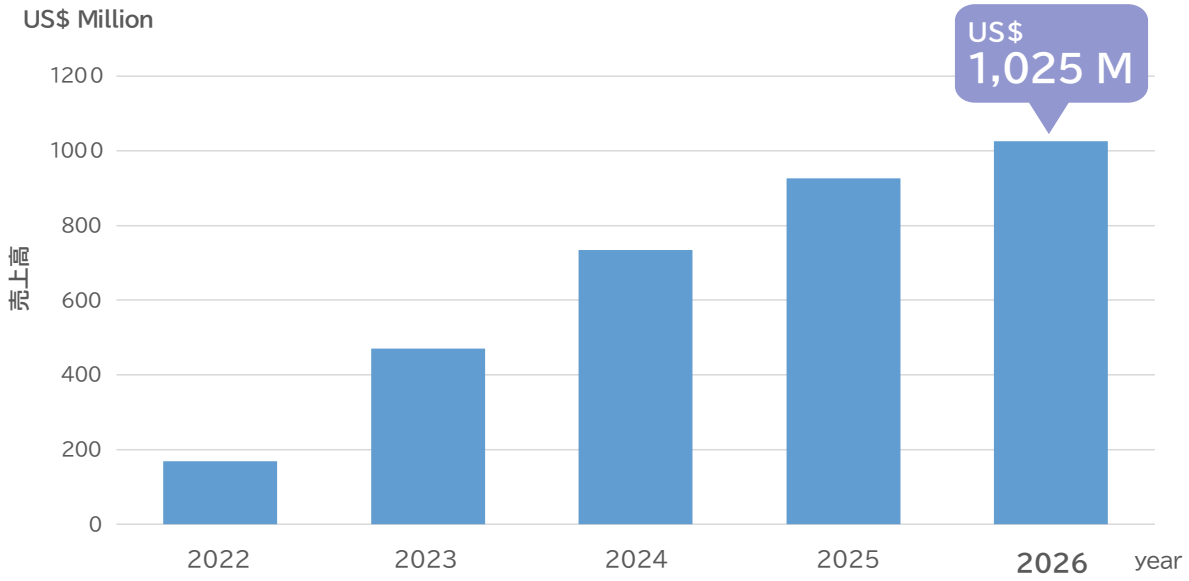
世界におけるVOXZOGO®（ACH治療薬）の市場*1



VOXZOGO®
(vosoritide) for injection

2022年上市
開発販売：BioMarin社

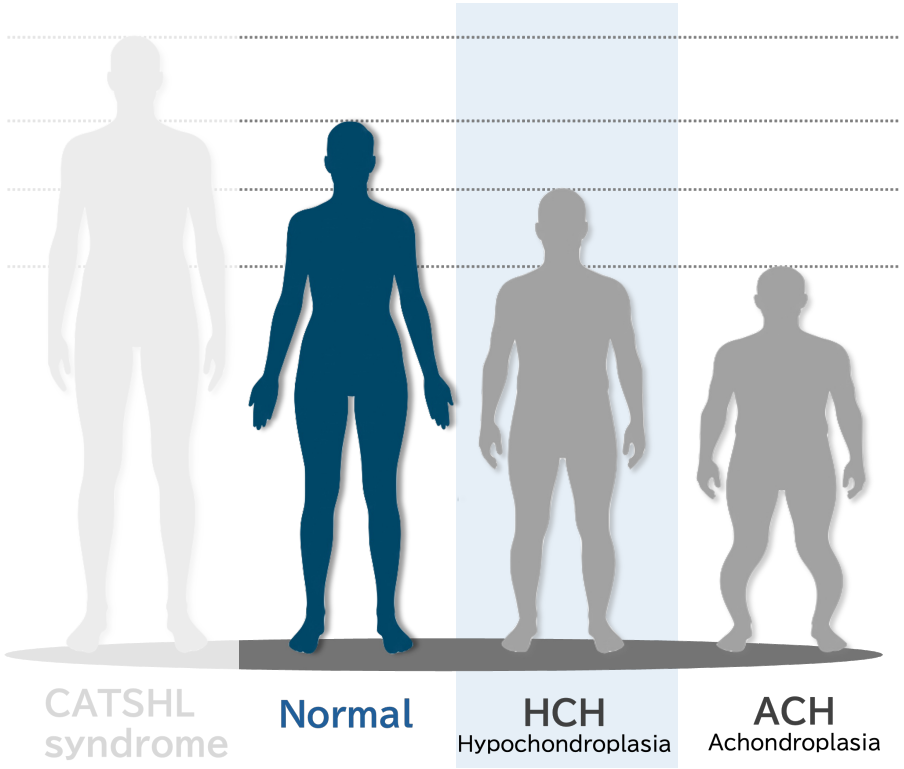
世界50ヵ国以上で5,000人以上の
乳幼児および小児の患者さんが
VOXZOGO®の治療を受けている*2



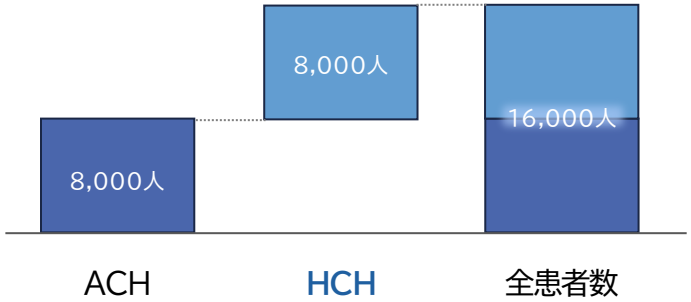
*1 BioMarin annual results (FY2022–FY2025) and company disclosures, *2 BioMarin Presents New Data on the Positive Impact of Early Treatment With VOXZOGO® (vosoritide) on Proportionality and Arm Span in Children with Achondroplasia at the 2026 American College of Medical Genetics and Genomics (ACMG) Annual Clinical Genetics Meetingを元に弊社で作成

RIBOMIC

ACH治療薬の適応拡大と市場規模拡大



- ACH治療薬が適応する患者数（米国と欧州）



- 軟骨低形成症（HCH, Hypochondroplasia ）

軟骨無形成症（ACH）と同様に手や足の短縮を伴う低身長となる遺伝性疾患ですが、ACHより程度は軽度です。
FGFR3遺伝子におきた突然変異ですが、ACHとは場所が異なり、大半はN540Kの変異です。
発症頻度はACHと同様（1/15,000～40,000）です。
根本的な治療はなく、有効な治療薬の開発が求められています。

*Cleveland Clinic_ Hypochondroplasia, *Michael B Bober, et al. Hypochondroplasia. GeneReviews Last Update May 7, 2020.*, US Census.gov_ The U.S. Adult and Under-Age-18 Populations: 2020 Census, Eurostat Database等を元に弊社で作成

本日の内容

- VISION 2030
- 事業の進捗
- 2027年3月期 2Q決算

損益計算書の概要

- 創薬支援事業において、共同研究契約3件、業務委託契約1件の計4件の契約獲得を通じて、事業収益16百万円を計上。
- 将来の事業成長に向け、ACH：第3相臨床試験開始に伴う研究開発活動を着実に推進。研究開発費は46百万円増加し、当期純損失は547百万円となりました。

（単位：百万円）

	2026年3月期2Q	2027年3月期2Q	前年同期比増減額	主な増減要因
事業収益	―	16	16	創薬支援事業：16百万円（共同研究契約3件・業務委託契約1件）
営業利益	▲538	▲578	▲40	研究開発費の増加 46百万円 一般管理費の増加 10百万円
営業外収益	35	32	▲2	助成金 5百万円 資金運用利息等 3百万円 受取返還金 ▲11百万円
経常利益	▲513	▲547	▲33	
当期利益	▲514	▲547	▲33	
研究開発費	333	380	46	RBM-007（ACH） 56百万円 DDS 16百万円 RBM-006 ▲22百万円

貸借対照表の概要

- ACH：第3相臨床試験をはじめとする研究開発活動を推進する一方、第19回新株予約権により193百万円の資金調達を実施。
- 当期純損失547百万円の計上等により純資産は2,486百万円となる一方、研究開発活動および事業運用に必要な一定の手元資金を確保しています。

（単位：百万円）

	2026年3月末	2026年9月末	前期末比増減額	主な増減要因
流動資産	2,928	2,587	▲340	現預金 ▲ 30百万円 有価証券 ▲300百万円
固定資産	48	49	1	
資産合計	2,976	2,636	▲339	
流動負債	135	150	15	
負債合計	135	150	15	
純資産合計	2,841	2,486	▲354	新株予約権の行使に伴う増加額 193百万円 当期純損失 ▲547百万円
負債・純資産合計	2,976	2,636	▲339	

資金調達の状況

第18回新株予約権の行使が完了し、現在、第19回新株予約権の行使が進行しています。

● 概要（第18回乃至第20回新株予約権）

割当日	2025年8月8日
発行株式数	31,500,000株（315,000個 潜在希薄化率 70.6%※1） （18回…9,500,000株、19回・20回…各11,000,000株）
行使期間	2025年8月12日～2028年1月31日
資金調達の額	総額34億2千万円（当初行使価額109円）
割当先	EVO FUND
買取契約	行使コミット条項※2、行使停止指定条項
資金使途	• RBM-007（umedaptanib pegol）を用いたACHに対するPhase 3を実施する費用 • 運転資金

※1 本新株予約権は原則として約2年6ヵ月間にわたって段階的に行使される予定であるため、かかる希薄化は一度に生じるものではありません。

※2 各回号すべてに、期間内に各回号の新株予約権をすべて行使する条項を設けております。

● 資金調達実績（2026年10月末時点）

累計調達額：約11.3億円

	第18回	第19回	第20回
行使状況	行使完了	25%行使	行使開始前
行使済株式数	9,500,000株	2,750,000株	
調達額	約9.2億円	約2.1億円	
コミット期間	－	無効※3	2027年4月1日～ 2027年12月31日

※3 **2026年6月15日～2026年9月18日の期間行使停止**を実施したため、コミット期間が無効になっております。

RIBOMIC

留意事項

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
また、当該資料に記載された内容について合理的な注意を払うよう努めておりますが、記載された情報の内容の正確性、適切性、網羅性、実現可能性等について、当社は何ら保証するものではありません。
投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますよう、お願いいたします。
なお当該資料に記載されている開発品の情報は、当該製品を宣伝・広告するものではありません。

RIBOMIC

URL : https://www.ribomic.com

Contact information : info@ribomic.com